

研究業績目録

I. 論文

N O	著者および共著者名 (本人に下線) ※筆頭論文1編以上必須※	論文題名	発表雑誌名 著者名	巻(号)頁(～)	発表年月 (西暦)	点 数
合 計						

発表順／種類	欧米論文	和文論文
筆 頭	10	6
共 同	3	2

以上の通り相違ありません。

平成 年 月 日 氏名(自筆) _____

研 究 業 績 目 録

Ⅱ. 学会等発表

NO	発表者、共同発表者、司会、座長	演題・司会座長はセッション名	学 会 名	開催地	発表年月（西暦）	点 数
合 計						

発表順／種類	国際学会発表 日本乳癌学会発表	国内学会発表	日本乳癌学会地方会発表 乳腺関連研究発表表
筆 頭	4	3	2
共 同	1	1	1

以上の通り相違ありません。

平成 年 月 日 氏名（自筆）_____

外科 診療実績一覧表

施設名：

修練した施設の指導責任者（指導医・専門医が証明）

指導医・専門医氏名： 印

申請者氏名 印

期 間	乳癌手術 (100 例以上)	その他の 乳腺疾患 1	その他の 乳腺疾患 2	診断 (読影)	診断 (生検)	乳房 切除術	乳房 温存術	その他の 手術	化学療法	内分泌 療法
	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例
	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例
	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例
	例	例	例	例	例	例	例	例	例	例

注1) 修練した施設毎に記入してください。

注2) 同じ施設で複数回修練した場合、期間順に別の欄に記入してください。（記入欄不足のときは用紙コピー可）

注3) 乳癌手術 100 例以上。下記の乳房切除術、乳房温存術と重複可

注4) その他の乳腺疾患 1：乳腺症、線維腺腫、および女性化乳房症の診療経験の合計例数

注5) その他の乳腺疾患 2：思春期早発症、副乳、乳管拡張症、乳汁漏出症、周期性乳房痛（月経依存性）、乳癌、急性乳腺炎、産褥乳腺炎、乳輪下膿瘍、乳管内乳頭腫、乳頭部腺腫、腺腫、葉状腫瘍、Peget 病、および肉腫の合計例数

注6) 診断（読影）：マンモグラフィ、乳房超音波検査、MR マンモグラフィ、および乳腺 CT 検査の読影経験例数（同一症例の重複可）

注7) 診断（生検）：穿刺吸引細胞診、針生検、および吸引式組織生検の実施経験の合計例数

注8) 乳房切除術および乳房温存術はそれぞれの執刀例数

注9) その他の手術：切開排膿術、腫瘍摘出術、および再発巣切除術の合計執刀例数

注10) 化学療法、および内分泌療法はそれぞれの実施例数

注11) 乳癌手術（100 例以上）以外の項目は、乳腺専門医修練カリキュラムの必要経験例数に達していなくても可とする